

精神科患者に対する甲状腺機能スクリーニング検査の有用性の検証に関する研究

1. 研究の対象

2013年1月1日から2022年12月31日までの間に川崎市立川崎病院精神科、東京都立病院機構松沢病院精神科、足利赤十字病院神経精神科のいずれかに受診し、血液検査で甲状腺機能の評価を受けられた患者さん。

2. 研究目的・方法

甲状腺機能低下症で見られる精神神経症状は気分症状、認知機能障害、さらには精神病症状（幻覚妄想）など幅広く報告されています。特に抑うつ症状は最もよくみられる症状として臨床医の間で周知されており、抑うつ症状をもつ患者さんの初診時にスクリーニングとして血液検査で甲状腺機能を確認することは広く行われています。しかし、甲状腺機能低下症と精神症状の関連には相反する報告も多く、議論が続いています。

予防医学の有効性を検討している US Preventive Services Task Force (USPSTF) は、一般成人に対する甲状腺機能のスクリーニング検査は臨床的転帰を改善させる証拠に乏しいことから推奨していません。精神科患者さんに対する甲状腺機能のスクリーニング検査は当然の対応として認識されている一方で、スクリーニング検査で発見された甲状腺機能異常を持つ患者さんのうち、症状性精神障害（身体疾患による精神障害）と判断された患者さんの割合を評価した報告はなく、スクリーニング検査を行うことで甲状腺機能異常を有する患者さんの臨床的転帰が改善するか否かについても明らかになっていません。本研究の目的は、精神科で行われた甲状腺機能のスクリーニング検査が臨床的転帰に与える影響を評価し、その検査の有用性、妥当性を検証することです。

電子カルテの検索システムを用いて甲状腺機能の検査を行われた患者さんのデータを抽出し、甲状腺機能異常の頻度を調査します。施設基準に照らして甲状腺機能異常が認められた患者さんの、臨床的転帰、甲状腺疾患治療の有無および内容を調査し、患者さんの臨床的転帰と、患者背景および臨床情報との関連を調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、治療内容、検査データ等

試料：なし

4. 外部への試料・情報の提供

匿名化されたデータは他の研究施設と共有されますが、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い、個人を特定できる情報は含まれません。匿名化の対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表機関

研究代表者：倉持 信

川崎市立川崎病院 精神科 倉持 信（研究責任者）、佐藤 延彦（研究分担者）

住所：神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1

電話：044-233-5521（代）

共同研究機関

東京都立松沢病院 内科 石田 琢人

足利赤十字病院 神経精神科 船山 道隆

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

川崎市立川崎病院 精神科 佐藤 延彦（研究分担者）

住所：神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1

電話：044-233-5521（代）

-----以上